

第39回 全日本自閉症支援者協会 豊橋大会 開催要項

テーマ：「意思決定支援から問い直す自閉症支援の原点」

～本人の『想い』を軸に、強度行動障害・地域移行・高齢化の未来を拓く～

＜趣旨説明＞

本大会は「意思決定支援」を中心に据え、自閉スペクトラム症のある方への支援の原点を改めて問い直すことにしました。私たち支援現場では、彼らの行動や表情、微細なサインから真の意思を丁寧に読み取り、その人らしい選択を支えていく実践が求められています。また、そのためには、共に歩む家族の切実な想いに寄り添う視点も欠かせません。

そこで今回は「意思決定支援」を軸に、①強度行動障害の状態にある方への専門的な支援、②地域での暮らしへの移行、③高齢化に伴うニーズの変化、三つの課題を取り上げてみました。ご参加の皆様には、職種や立場を越えて意見を交わし、明日からの実践に活かせる・深めることができれば幸いです。

開催担当施設一同、自閉スペクトラム症のある方自身が自分の人生の主演として暮らしていけるため、支援者一人ひとりが日々の実践を振り返り、本人の想いを具現化していく支援の意義や価値を分かち合える場となる大会を目ざします。

日 時 令和8年11月30日（月）12：50～20：30 受付12：20開始
令和8年12月 1日（火） 9：20～15：00 受付 9：00開始

会 場 ホテルアソシア豊橋
〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿（JR・名鉄豊橋駅直結）
TEL 0532-57-1010

募集人数 240名

主 催 一般社団法人 全日本自閉症支援者協会（J A A S）

開催担当 同 東海ブロック8法人、11施設

さつき学園 泰山寮 小原寮 自由の杜 ひまわりの風

伊自良苑 ル・リアン れんげの里 城山れんげの里

あさけ学園 ワークセンターひのき

（順不同）

主管施設 社会福祉法人双樹会 自由の杜

後 援 愛知県 豊橋市 一般社団法人日本自閉症協会

特定非営利活動法人愛知県自閉症協会・つぼみの会

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会

社会福祉法人豊橋市社会福祉協議会 一般社団法人豊橋観光コンベンション協会

参加費	両日	¥ 14,000	1日のみ ¥ 7,000
	学生、家族	¥ 7,000	(両日、1日とも共通)
	情報交換会	¥ 11,000	
	弁当代(2日目)	¥ 1,800	(お茶付き)
※ ホテル規則により会場ホテル内への食べ物の持ち込みはできませんので、 ご協力をお願いします。周辺には飲食店が多く、そちらのご利用も便利です。			

大会プログラム

◎1日目(11月30日) 会場 5階 ザ・ボールルーム

《受付》 12:20～12:50

《開会式》 12:50～13:20 (30分)

主催者挨拶 全日本自閉症支援者協会 会長 松上 利男

来賓挨拶 愛知県 豊橋市

来賓紹介 愛知県知的障害者福祉協会 愛知県自閉症協会 豊橋市社会福祉協議会

《行政説明》 13:30～14:30 (各30分)

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室
発達障害施策調整官 山根 和史 氏

こども家庭庁 支援局 障害児支援課 発達障害児支援専門官 今出 大輔 氏

《基調講演》 14:40～16:10 (90分)

・テーマ 意思決定支援と地域連携

・講師 愛知県西三河福祉相談センター 児童専門監 吉川 徹 氏

《記念講演》 16:20～17:20 (60分)

・テーマ 自分の手を離れたとき、こころ豊かに人間らしく生きるため、わが子の中に
遺してあげられること。それは意欲の芽を育てることと、多様な経験。それは
意思決定の礎でした。

・講師 愛知県自閉症協会 理事長 花島 紀秀 氏

ここで紹介するアーティスト花島愛弥氏は、豊橋市在住の重度知的障害を伴う自閉スペクトラム症のあるアーティスト。令和3年より、のんほいパーク(豊橋総合動植物公園)の認定アーティスト第1号。園内の動物をモチーフにした作品展示やオリジナルグッズ展開など、公園の魅力発信に貢献。大阪関西万博(2025年日本国際博覧会)では、自身のデザインを用いたワークショップ「はんこアート体験」を開催。「はんこアート体験」とは、花島愛弥作品の動物モチーフを「はんこ」にし、可愛い動物「はんこ」を自由に組み合わせて、誰でも簡単にアートを楽しめるワークショップ。シャチハタXスタンプを合理的配慮として起用することで更にバリアフリー化を促進。障害者アートをレクリエーションの形にすることで、笑顔溢れる活動により温かな繋がりでの障害理解を醸成できるとして、障害福祉啓発の新しいスタイルだと評価された。

《情報交換会》 18:30～20:30 会場 5階 ザ・ボールルーム

会場にて記念講演講師による花島愛弥作品の展示と紹介、販売を行ないます。

※ なお、本会場における作品の展示・紹介・販売は、当事者である花島愛弥氏の芸術活動を紹介する目的で行なうものであり、特定の協会や団体への加入の斡旋、勧誘等を行なうものではありません。

◎2日目(12月1日) 会場 (午前) 5階 ザ・ボールルーム

《受付》 9:00～9:20

《対 談》 9:20～11:20(120分) 会場 5階 ザ・ボールルーム

・テーマ 強度行動障害を「生まない」地域社会の構築

～『環境調整』と『内面理解』の両輪で拓く未来～(仮)

・司会進行 社会福祉法人嬉泉 理事長 石井 啓 氏

・発 表 (1)「多職種協働・統合的アプローチ支援(五蘊モデル)」

社会福祉法人萌葱の郷 理事長 五十嵐 猛 氏

(2)「構造化を基盤とした地域での暮らし」(仮)

社会福祉法人はるにれの里 理事長 加藤 潔 氏

・指定討論 こども家庭庁 支援局 障害児支援課

発達障害児支援専門官 今出 大輔 氏

・四者対談【論点】 ① 内的プロセスと外的構造化—どこで接続するか？

② 支援者間の共通言語と支援の継続性

③ 予防が失敗する要因—断絶はどこで起きるか？

④ 今後の展望—現場・制度・次世代へ向けて

《閉会式》 11:20～11:30(10分)

次期開催主管施設挨拶

《昼食・休憩》 11:30～12:30 会場 5階 ザ・パティオルーム

《分科会》 12:30～15:00(150分) 受付12:10開始

※ 第2～4分科会では、東海ブロック加盟施設による話題提供(各2題)を題材にして、数名のグループに分かれて意見交換の後、各グループからの発表を通じて情報共有を図っていきます。

第1分科会 テーマ：現場のみなさんと考える意思決定支援

～問題解決からちょっと離れて～

・会 場 5階 チェリールーム

・講 師 社会福祉法人昭徳会 障がい者支援センター高浜安立

相談支援専門員 須田 哲生 氏

・担当施設 社会福祉法人 双樹会 自由の杜

第2分科会 テーマ：強度行動障害と意思決定支援

・会場 5階 ザ・ボールルームA

・話題提供① 「Aさんの今までとこれから」(仮)

社会福祉法人ひまわり福祉会 ひまわりの風 生活支援員 加藤 萌 氏

・話題提供② 「伝えられていることと、本当に望んでいることの間で」

～強度行動障害のある人の意思決定支援を考える～

社会福祉法人昭徳会 グループホームさくや

グループリーダー・サービス管理責任者 奥田 希 氏

・担当施設 社会福祉法人檜の里 あさけ学園

第3分科会 テーマ：地域移行と意思決定支援

・会場 5階 ザ・ボールルームB

・話題提供① 「地域移行の際の受け入れ環境整備」

～自閉スペクトラム症のある方の地域生活を支えるために必要だった

地域の支援体制づくり～

社会福祉法人昭徳会 泰山寮

課長(看護師・地域移行等意向確認担当者) 井上 亜希 氏

・話題提供② 「地域移行後26年を経た自閉スペクトラム症のある方への取り組み」

～高齢になった家族の実情と直面した本人の想いに寄り添う～

社会福祉法人檜の里 ワークセンターひのき 管理者 中村 和博 氏

・担当施設 社会福祉法人おおすぎ 城山れんげの里

社会福祉法人至誠会 ル・リアン

第4分科会 テーマ：高齢化と意思決定支援

・会場 5階 ザ・ボールルームC

・話題提供① 「嚥下機能が低下した方への意思決定支援」

社会福祉法人同朋会 伊自良苑 支援員 浅沼 友哉 氏、鈴木 健一 氏

・話題提供② 「重度知的障害を伴う自閉スペクトラム症のある方の障害者支援施設から
身体介護対応型グループホームへの移行支援」

～ミオパチー発症に伴う“暮らしの継続”をどう守るか～

社会福祉法人おおすぎ れんげの里 生活支援員 水谷 共志 氏

・担当施設 社会福祉法人ふじの郷 さつき学園

大会事務局 社会福祉法人双樹会 自由の杜(奥村康子、佐原大介)

〒441-3301 愛知県豊橋市老津町字池上106番地の2

TEL 0532-23-5181

FAX 0532-23-5182

e-mail jyuunomori01@mocha.ocn.ne.jp

お申し込み方法

名鉄観光ホームページよりお申し込み受付

【受付期間】 9月1日（火）12：00 ～ 10月31日（土）まで

※受付開始前でも申込ページにはアクセスできますが、テスト状態のため正式な受付にはなりません。必ず上記の受付開始日時以降にお申し込みください。

【申込URL・QRコード】

<https://www.mwt-mice.com/events/zenjisyakyo2026>

